

3組 河野圓城寺 藤井 美奈

子どもから教わること

うちのお寺では、放課後子どもたちが遊びに来ます。境内や本堂で思い思い自由に過ごしています。低学年の男の子が初めてお寺に遊びに来て以来続けて毎日来てくれるようになり、聞いてみました。

「毎日来てくれるね。どうして？」

すると、こんな答えが返ってきました。

「だってここ、おちのばあちゃんにおいがするもん。」

詳しく聞いてみると、ずっとおばあちゃんと住んでいたのに、急にアパートに引っ越すことになり、そこには畳の部屋がないので落ち着かないというのです。その子はいつも仏壇のあるおばあちゃんの部屋で遊んだり一緒に寝ていたそうです。畳の感触とお寺のにおいに、おばあちゃんを肌で感じているようで、お寺が、自分にとってホッとできる、安心できる場所と思ってもらえたようです。

お寺は、歴史の中で変わらずお念仏の場として存続してきました。お寺は仏法場であり、人と人がふれあい語り合える場です。夏休みにお経のおけいこに来る子たちは、習い事の一つという感覚で来てくれますが、毎日遊びに来てくれる子どもたちは、お寺に自由に遊べる時間と空間を求めにやってきます。習い事に忙しい子どもたちが、お寺では自由に遊ぶ姿を見ていると、これも大事なお寺の役割の一つだと感じます。お寺がどなたでも安心できる場所、心の拠り所であり続けるよう大切にお預かりさせて頂き開いていこうと思います。